学校番号	416

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　世界史Ａ　改訂版」（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習するにあたって、以下のことを意識しましょう。
・歴史のなかの時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持ち、自分の考えを持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本のあり方を考える。

２　学習の到達目標

・近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
・現代の諸課題を歴史的観点から考察することができる。
・国際社会に主体的に生きる一人の人間としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成するに日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読みとったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ノート・ワークシート 課題 ふりかえりシート	定期考査 ノート・ワークシート レポート ふりかえりシート	定期考査 ノート・ワークシート	定期考査 ノート・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・大西洋革命 ・ウィーン体制 ・イギリスの繁栄 ・1848年の諸革命 ・イタリアとドイツの統一 ・ロシアの近代化と東方問題 ・アメリカ合衆国の膨張	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:18 世紀後期以降のヨーロッパ・アメリカ諸革命への関心を高め、革命の時代の特質や国民国家建設の特質について意欲的に追究しようとする。 b:ヨーロッパ、アメリカの諸革命や国民国家の特質について考察し、それぞれ果たした歴史的意義を判断し適切に表現している。 c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読みとったり図表などにまとめたりしている。 d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ノート・ワークシート ふりかえりシート 定期考査 ノート・ワークシート ふりかえりシート

2学期	アジア諸国の変貌と近代の日本	・オスマン帝国の衰退	○	○		○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ノート・ワークシート ふりかえりシート レポート 課題
		・インド帝国	○	○	○	○		
		・東南アジアの植民地化	○	○	○	○		
		・清の動揺	○	○		○		
		・明治維新と東アジア	○	○		○		
		・中国分割	○	○		○		
		・アジア諸国の変革	○	○		○		
	世界戦争と平和	・帝国主義	○	○	○	○		
		・第一次世界大戦	○	○		○		
		・ロシア革命	○	○		○		
		・ヴェルサイユ・ワシントン体制	○	○		○		
		・東アジアの民族運動	○	○	○	○		
		・アジアの独立運動	○	○	○	○		
		・世界恐慌	○	○		○		
		・ファシズムの台頭	○	○		○		
		・日本の軍国主義と中国	○	○		○		
		・第二次世界大戦	○	○	○	○		
3学期	三つの世界と日本の動向へ	・戦後世界の出発	○	○		○	a:第 2 次世界大戦後の世界の大きな変容に対する関心を高め、意欲的に追究し、国際社会に生きる日本人としての自覚を持とうとしている。 b: 第 2 次世界大戦後の世界の大きな動向について考察し、判断した過程や結果について適切に表現している。	定期考査 ノート・ワークシート ふりかえりシート
		・戦後の東アジア	○	○		○		
		・戦後の西アジア	○	○		○		
		・第三世界の台頭	○	○		○		
		・変容する冷戦	○	○	○	○		
		・中国の動揺とベトナム戦争	○	○	○	○		
		・アメリカ合衆国の変容	○	○		○		
		・冷戦の終結	○	○		○		

							c:第 2 次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:第 2 次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。